



～市民と響き合う議会～

# ひびき

市民の命と財産を守るための取り組みは？  
**3年度決算を議会がチェック！**



**甲州街道イチョウ並木**

甲州街道追分町交差点付近から高尾駅前まで続く763本のイチョウ並木。このイチョウが色付く頃、市民手づくりの祭り「八王子いちょう祭り」が開催されます。



賛成32票、反対5票で、決算議案を認定しました

# 議会がチェックし、未来につなぐ

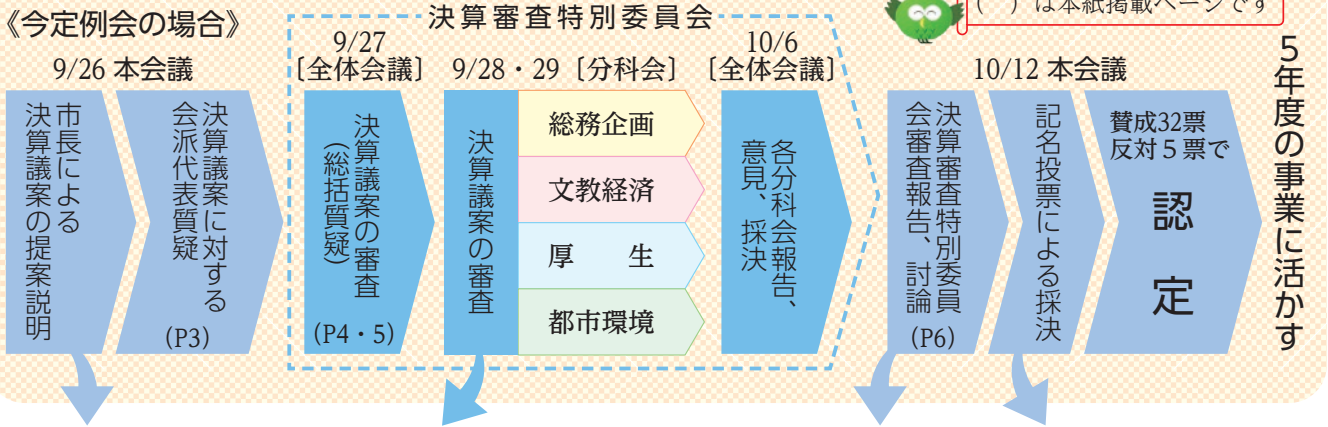
令和3年度決算議案は、決算審査特別委員会で審査し、本会議で記名投票により、賛成32票、反対5票で原案のとおり認定しました。  
2～6ページでは、決算議案に対する主な審議内容などを掲載しています。

## 八子 決算議案が認定されるまで

決算の審議は、9月に開会する第3回定例会で行い、会期中に採決します。本市議会は、議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置

して決算議案を審査します。また、より詳細な検討のため、分科会（総務企画、文教経済、厚生、都市環境）を設置して審査しています。

## 八郎 ( )は本紙掲載ページです



### 市長が説明した3年度決算は

- 一般会計は75億1,800万円の黒字
- 貯金(基金残高)は334億6,400万円
- 借金(市債残高)は1,923億2,200万円
- 財政の健全性を十分に確保

### 一般会計の歳入・歳出のトップ3は？

歳入	1 市 税	個人・法人市民税、固定資産税 など
歳入	2 国庫支出金	国からのコロナ関連補助金 など
歳入	3 都支出金	都からの補助金 など
歳出	1 民生費	障害者福祉、児童福祉、生活保護 など
歳出	2 衛生費	保健衛生、ごみ処理 など
歳出	3 総務費	市民活動、ICT活用 など

### 議員がチェックした市の主な取り組みは

- 行財政運営／市税収入
- 新型コロナ対応
- ICT活用・DX推進※
- 防災・減災対策
- 小・中学校のICT環境の整備
- 獣害対策
- 子育て支援／母子保健
- 生活困窮者の自立支援
- 中心市街地の活性化
- ごみ減量の推進



※DX (デジタルトランスフォーメーション) = 情報通信技術が浸透することで、人々の生活があらゆる面でより良い方向に変化すること



録画中継は  
こちら

# 決算議案 に対する 会派代表質疑

9月26日の本会議で、各会派が代表質疑を行いました。主な質疑の要旨を発言順に掲載しています。

## 八王子市議会公明党



五間 浩

### 子育て施策の拡充は



子育てしやすいまちへ

**問** 子育て支援の取り組みは評価するが、合計特殊出生率※の向上のため、さらなる施策の拡充は。

**答** 新たな市の基本計画案では、子育て施策を重点に位置付けている。今後、市民の出産や子育ての希望がかなうよう、施策の充実に一層取り組んでいきたい。

### 避難所の環境整備を早急に

**問** 3年度は避難所のコロナ対策を行ったが、環境整備も早急に必要である。避難所となる学校体育館等への空調機設置は。

**答** 風水害時に避難所を開設する頻度の高い体育館等へ計画的に設置してきた。今後は、施設の断熱性や公共施設の再編等も踏まえ、取り組んでいく。

## 市民クラブ



星野 直美

### ゴルフ場でふるさと納税を



ゴルフ場で気軽にふるさと納税を

**問** コロナ禍においても、市内ゴルフ場の利用者が増えている。利用者がゴルフ場内でふるさと納税を行い、スイーツ等の返礼品を受け取る仕組みがあると、ふるさと納税の趣旨と合致すると考えるがどうか。

**答** 魅力ある返礼品を置き、市外利用者からの寄附につなげることは有意義である。今後、ゴルフ場との連携を検討していく。

### SNSを活用した支援は

**問** 人との接点を持ちながら、親子をSNS等を活用し、子育てひろばにつなげられないか。

**答** SNS等の活用は、子育て世代に有効と考えており、子育てひろばへつなげる一つの手段として検討していく。

## 立憲民主・市民の会



森 喜彦

### アスベストの情報の周知は



アスベスト飛散防止対策の推進を

**問** 解体工事に伴うアスベスト対策として、事業者の事前調査結果も市などへ報告することが義務となったが、周知の状況は。

**答** 都などと連携し、法改正の趣旨や報告内容をリーフレット等で周知しているが、情報が十分に届いていないと認識しており、一層の周知を行っていく。

### 福祉の専門的な職員育成を

**問** 市は生活困窮世帯等に給付など行ってきたが、複雑化する福祉ニーズへの支援には、専門性の高い職員の育成が必要では。

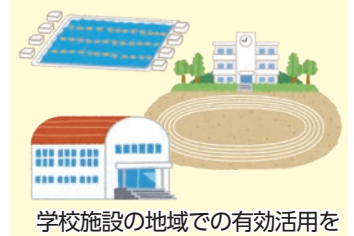
**答** 生活困窮世帯の自立に向けては、豊富な経験と高い専門性を備えた人材の育成に加え、市民と連携した支援体制の強化が重要と考えている。

## 自民党新政会



鈴木 玲央

### 学校施設を地域の拠点に



学校施設の地域での有効活用を

**問** 第二小・第四中学校改築で、学校再編がさらに進むと考えるが、教育以外で地域の拠点としての学校施設の活用は。

**答** 学校施設を地域で有効活用できるように市規則を改正した。校庭や体育館、プールなどの有効活用を検討し、計画的な環境整備に努めていく。

### 学習用端末の活用効果は

**問** 2年度に児童・生徒へ学習用端末を配備し、3年度途中に教員へ同機種端末を配備したが、授業の進め方は変化したのか。

**答** 教員への配備前は、使用機器が異なるため操作手順等に多くの時間を費やした。配備後は手間が解消され、児童・生徒の考える時間が増加した。

## 日本共産党

八王子市議会議員団  
望月 翔平



### PCR検査縮小の是非は



学校等における検査体制の確保を

**問** 学校や保育園でのPCR検査体制の縮小の判断は正しかったのか。

**答** 新型コロナウイルス対策は、国の方針に基づき実施している。対策は、検査のみでは成立せず、濃厚接触者やクラスター発生施設への指導など、総合的に行っており、対応は適切であったと考えている。

### 生保のしおりの改訂目的は

**問** 生活保護のしおりは、どのような目的意識を持って全面改訂したのか。

**答** 生活保護制度の利用者の権利を冒頭に記載することや、イラストを多く配置することなど、従前よりわかりやすくし、必要な方に同制度を活用してもらうことを目的にして、改訂に取り組んだ。

※合計特殊出生率=15~49歳の女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が生涯に産むことが見込まれる子どもの数を示す指標

# 委員会 の審査から (総括質疑)

3年度決算議案は、決算審査特別委員会(梶原幸子委員長、森喜彦副委員長)に付託され、全体会議及び分科会で慎重に審査しました。

ここでは、9月27日に行った全体会議での総括質疑の主な質疑と答弁の要旨について掲載しています。



梶原 幸子 委員長



森 喜彦 副委員長

**問** 新型コロナウイルスから市民の命と財産を守るため、9次にわたる補正予算を編成した。

**答** 国等の財源も活用し、新型コロナウイルスへの適宜適切な事業展開に取り組んだが、どのように進めたのか。

**答** 迅速かつ的確に対応するため、担当管理職の配置やプロジェクトチームの設置など機動的な執行体制の確保に努めた。全庁一丸で保健所業務の応援に取り組み、保

**問** 市税の納付機会拡充を図るため、キャッシュレス決済の納付手段を拡大した。

**答** 3年度はキャッシュレス決済のうち、電子マネーでの市税納付が、3万件を超えた。市税納付におけるデジタル化の取り組み状況を聞きたい。

**答** コストも意識し、電子マネーやクレジットカード決済の導入、AI(人工知能)を活用した税の問い合わせの24時間対応など、デジタル技術の活用を積極的に進めてきた。また、3年度には電子マネーの種類を拡大した。

## 市税の納付機会拡充の取り組みは



市税納付に使えるキャッシュレス決済には、さまざまな手段が

**問** 市税収入において、法人税は増収であったが、個人市民税が5億円ほど減収となった理由は。

**答** 前年度と比べ、納税義務者は、ほぼ同数であるが、課税対象となる給与収入の減少により、全体として減収となった。

## コロナ禍に対し、適切な事業実施を

健所職員が専門業務に注力することで感染拡大の影響を最小限にできたと考えている。

**問** 国の新型コロナウイルス地方創生臨時交付金を有効活用してきたが、支援が少し遅れた事業もあったと感じた。3年度を踏まえた今後の対応は。

**答** 社会情勢などを踏まえ、交付金は補正予算で実施する事業の財源としてきた。今後も状況に応じ、市民生活や経済活動を支援する事業に活用していく。

キャッシュレス決済によるポイント還元事業で、中小事業者を支援した。

**問** 3年度に実施したキャッシュレス決済による飲食店等への支援事業は、ポイントが還元される対象者が利用した個人に限られており、税金の使い方として適正とは言えない。2回に分けて実施した事業の受益者の数は。

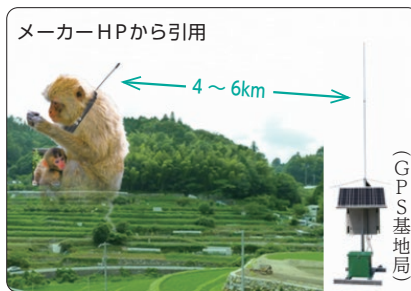
野生獣を防除する電気柵等の購入費補助などで、農作物被害の軽減を図った。

**問** イノシシやサルなどによる農作物被害に対する獣害対策として、電気柵や防護柵の購入費を補助しているが、柵の有効性は。

**答** 獣の種類に応じ、正しい方法で柵を設置し、適正管理を行うことにより、有効な対策になると考えている。しかしながら、効果的に設置されていない場合もあるため、正しい設置方法の周知や設置後の支援など、効果的な対策を講じていく。

**問** 首輪型のGPS発信機をサルに装着し、サルの

## 農作物獣害対策の効果は



首輪型GPS発信機で、サルの行動を把握し、農作物被害を軽減

**問** 位置情報を把握する基地局を3年度に増設した効果は。

**答** サルは群れで行動する習性があることから、群れごとに管理することが、重要であると考えている。GPS基地局の増設で、より広範囲に群れの行動を把握できるようになった。

## ポイント還元事業の受益者は

**答** 事業目的は、新型コロナウイルスの影響を受けた飲食店などの中小事業者の支援であることから、受益者は中小事業者である。当事業に参加した店舗は、約4千500店舗であり、小売業や飲食業の大部分が受益者となったと考えている。また、市民以外による消費も誘引し、消費の喚起を図っており、対象者は適切であったと考えている。

議長を除く全議員で構成する  
決算審査特別委員会で決算議案を審査

# 決算審査特別



保健所業務のICT化や、  
クラスター発生施設への対  
応等の対策を推進した。

**問** 新型コロナウイルスの陽性者の  
対応業務を改善したとの  
ことだが、その取り組みは。

**答** 第5波のひっ迫した状  
況を受け、手作業で行っ  
ていたシステム入力等を効率  
化するため、既存のICTツ  
ールを活用したシステムを構  
築するなど、デジタル化を中  
心に業務改善を進めた。その  
結果、保健所職員の業務量が  
大幅に削減でき、クラスター

妊婦を対象に、妊娠・出  
産・子育てに関する情報提  
供や面談を実施した。

妊婦面談率100%を  
目指してもらいたいが、  
面談率向上への工夫は。

**問** 28年度から始まったことや、  
オンライン面談を3年  
度から開始したことや、  
28年度から行っている面談時  
の育児パッケージの配付等に  
より、約85%と高い面談率と  
なった。

**答** 育児への不安を抱える  
妊婦へ、どのような支援  
を行ったのか。

対応等の業務に注力できる環  
境が実現したことで、第6波  
以降の感染拡大に対しても、  
適切な対応につながった。

## 保健所が取り組んだ 新型コロナウイルス対策は

高齢者施設等でクラ  
スターが数多く発生したが、  
他の入所者に感染を広げない  
よう、陽性者は病院などで療  
養していたのか。

**問** 入所者にとって、入院  
による環境や介護従事者  
の変化が望ましくないことか  
ら、陽性が判明した場合には、  
入所施設での療養を優先し、  
症状に応じた療養先の選定等  
の適切な対応を行った。

保健師が必要に応じて、  
サービスの利用調整や、  
受診継続のための医療機関と  
の連携、関係機関へ相談をつ  
なぐ等、妊婦とその家庭に合  
わせた支援を展開した。

## 妊婦を支援する取り組みは



子育ての応援メッセージを込めて育児  
パッケージ(はち★ベビギフト)を配付

中心市街地の活性化を図  
るため、まちなか休憩所八  
王子宿の維持管理を行った。

2年度に開設した「ま  
ちなか休憩所八王子宿」  
の3年度の管理費は、建物の  
借り上げ料や清掃で1千万円  
を超えているが、3年度の利  
用者数は。

**問** 緊急事態宣言で、利用  
者の少ない月もあったこ  
とから、年間延べで約2万1  
千人の利用者であった。

戸別回収方式による分別  
収集などで、ごみの減量と  
資源化を推進した。

3年度に本市は、ごみ  
排出量の少なさで3年連  
続で全国1位※になった。ペ  
ットボトルは、どのように処  
理しているのか。

ペットボトルは、収集  
後、手作業で汚れた物な  
どを除去・選別し、リサイク  
ル原料として出荷している。

家庭における省エネ行  
動を促進しているが、も  
っと身近な取り組みが有効と  
考える。ごみ・資源物収集力  
レンダーを活用した簡易な方

## まちなか休憩所八王子宿 利用者増の取り組みを

年間利用者を一日当た  
りに平均すると、約60人  
である。利用者増に向け、さ  
らなる取り組みを考えるべき  
ではないか。

3年10月に西放射線ユ  
ーロードで開催された、  
わくわくフェアでは、八王子  
宿の物販コーナーやギャラリ  
ーホールを活用し、一日に8  
00人以上の利用者があった。  
今後、周辺のイベントなど  
と連携し、さらなる回遊性の  
向上に努めていきたい。

## 資源化を推進し、地球温暖化防止を



プラスチック資源化センター  
(戸吹クリーンセンター)にて  
手選別で混入物等を徹底的に取り除き、  
品質の良いリサイクル原料に

法で、意識向上を図れないか。  
**答** 地球温暖化対策には、  
市民一人ひとりの行動が  
重要である。同カレンダーを  
活用した市民への周知啓発を  
庁内で調整し、地球温暖化防  
止に取り組んでいく。

※人口50万人以上の都市における、ごみの排出量の少ない自治体

# 決算議案に対し、こう考える

録画中継は  
こちら→



## 討論

10月12日の本会議で、3年度決算議案の採決に先立ち、議員が賛成・反対の立場から討論を行いました。各議員の討論から、主な内容を掲載しています。

### 討論とは...

本会議で議案を採決する前に、議案に対し、賛成か反対かの意見を表明することです。会派を代表した議員に加え、会派に所属しない議員も意見を表明できます。

### 賛成

八王子市議会公明党  
五間 浩



#### 温かい中学校給食の実現へ加速を

コロナ禍への対応や行政事務の効率化などを図りながら、第9次行財政改革の個別取り組みを推進し、財政の健全性を維持できたことを高く評価する。  
また、学校給食センター元横山を開設し、求めてきた「温かい中学校給食」が実現の歩みを進めている。一日も早く市内全域で実現できるように、事業の着実かつ加速した推進を要望する。  
今後も、納税者の理解が得られる市政運営とともに、市民福祉の向上に向けた施策展開を求め、本決算に賛成する。

### 賛成

自民党新政会  
鈴木 基司



#### 厳しい状況下での取り組みを評価

市税収入は前年度と比べ減収となったが、収入率は過去最高の99・1%を達成した。コロナ禍の影響を受け、減収が見込まれた中、市が一丸となって取り組んだ成果と高く評価する。  
人口減少・少子高齢化が進み、歳入の増加が望めない中、各事業の効果・効率的な執行に努め、行財政改革を一層進めるとともに、民間の力を活用し、事業の選択と集中に努める必要があると考える。将来を見据えた持続可能な行財政運営を強く要望し、本決算に賛成する。

### 賛成

立憲民主・市民の会  
安藤 修三



#### 「生きる力」を育む教育の実現を

新型コロナウイルスの影響で、減った歳入もある中、歳出削減を進め一般会計を黒字とし、今後起り得る大きな危機への対応に余力を残したことを評価する。  
未来への投資で最も重要なのは、人への投資、中でも子どもたちへの教育である。コミュニケーション力や集団の中での利害調整、居場所をつくる力などの「生きる力」を育む教育の実現を強く求める。  
今後も、効果的な投資や、市民の暮らしと命を守る取り組みを要望し、本決算に賛成する。

### 賛成

市民クラブ  
若林 修



#### ワクチンの安全性の情報提供も

市民の生命と財産を守るため、全庁を挙げて、課題解決へ取り組んだことを評価する。  
新型コロナウイルスのワクチン接種では、市民の安心につながるべく、接種体制を迅速に構築した。国は副反応についてのデータ集計を進めており、ワクチンの有効性だけでなく、安全性についても市民へのわかりやすい情報提供を進めることを期待する。  
引き続き、健全な財政運営を堅持し、市民が笑顔で安心して生活できる市政運営に当たると言う要望し、本決算に賛成する。

### 賛成

若尾 喜美絵



諸派

#### ごみ行政のさらなる進化に期待

温暖化対策にもつながる食品ロス削減等の積極的な取り組みを高く評価する。ごみの発生抑制にウエイトを置いた施策展開などを期待し、本決算に賛成する。

### 反対

前田 佳子



#### 自ら判断できる情報提供を

新型コロナウイルスや子宮頸がんの子どもへのワクチン接種において、接種を判断する情報が足りない。通知の一斉送付は問題である。自ら選択できる社会を目指すべきであり、本決算に反対する。

### 反対

日本共産党  
八王子市議会議員団  
望月 翔平



#### 効果・効率的な支出とは言えない

3年度では、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ上で最も必要なPCR検査に対し、市は国の姿勢に追随し、検査体制の構築に常に後ろ向きであった。このような市の対応は認められない。  
また、対象児童一人当たり5万円を給付した、子育て世帯生活支援特別給付金の委託は、大半は申請型に対してであり、1世帯当たり換算した委託費用が5万円以上となる。給付額を超える支出が効果・効率的とは言えず、認めることはできないため、本決算に反対する。

諸派＝会派に所属しない議員

# 令和4年 第3回 定例会

## 本会議

市長提出議案42件を可決

4年第3回定例会は、9月2日に開会し、本会議において議案等を審議し、市長提出議案42件を可決しました。また、議員提出議案1件を否決し、請願1件を不採択としました。

可決した市長提出議案のうち、委員会への付託を省略した議案は次のとおりです。

●全議案の審議結果及び委員等の氏名は10ページへ

- 可決した付託省略議案
- 教育委員会委員の任命
- 公平委員会委員の選任
- 固定資産評価審査委員会委員の選任
- 自治功労者の推戴
- 一般会計補正予算(第5号)
- 給与及び公共料金特別会計補正予算(第5号)

## 議員提出議案

議員提出議案は、意見書1件を審議し、否決しました。



本会議最終日(10/12)のようす

## 請願

1件を不採択  
1件を継続審査に

提出された請願2件のうち、1件は文教経済委員会へ付託し、審査を行った後、本会議で不採択としました。  
また、1件は都市環境委員会へ付託し、審査の結果、継続審査としました。

●主な内容等は8・9ページ「文教経済委員会」「都市環境委員会」へ

## 不採択とした請願

○八王子市立全小中学校体育館へのエアコン設置・教育活動での使用を求める請願

## 委員会

常任委員会で付託議案を審査

本会議で付託された市長提出議案26件及び請願2件は、各委員会でも慎重に審査を行いました。主な審査状況は次のとおりです。

## 総務企画委員会

開催日 9月9日

●一般会計補正予算(第3号)

本市独自のマイナポイント付与の経費を計上

**問** 国のマイナポイント事業では、マイナンバーカード普及促進のため、付与されるポイントが2万円分である。本市独自で実施する今回の事業は、3千円分だが効果はあるのか。

**答** 限られた予算の中、カード普及促進と物価高騰対策として、最低限の効果と市費負担の規模等を考慮し、設定した。カード取得の動機付けとしての効果は限定的であるが、4人世帯では1万2千円の支援となり、物価高騰対策に一定の効果があると考えている。

**問** ポイントはカードそのものに付与されるのではなく、

キャッシュレス決済サービスに使用できるポイントとして付与される。高齢者の中にはキャッシュレス決済を利用していない方もおり、本市独自のポイントが付与されてもカード取得に結び付かないのではないかと。

**答** 確かにポイント付与にはキャッシュレス決済サービス事業者を選択する必要があり、国のポイント事業でも、高齢者等が持っていないという意見は多数ある。本市では、受付窓口等で、できるだけ簡易に使える事業者を紹介するともに、使い方も説明するなど、ポイント付与について丁寧に対応している。

住民票の写し等が取得できる端末を郵便局に設置

**問** 身近な場所で住民票等の写しを取得できるコンビニ

交付の利用率向上のため、市内郵便局3カ所に端末(マルチコピー機)を設置することだが、今後の拡大について、どのように考えているのか。

**答** 市内には郵便局に限らず、地域にさまざまな公共施設があることから、まず今回の3カ所の有効性等を検証しながら、公共施設を軸に、拡大についても検証を進めていきたいと考えている。

●職員の定年等に関する条例の一部改正

職員の定年を60歳から段階的に65歳へ引き上げ

**問** 定年延長に伴い導入する役職定年では、60歳で管理監督職からの降任等を行うとのことである。しかしながら、例外として60歳を過ぎても引き続き管理監督職に留まるケースがあるとのことだが、どのようなケースを想定しているのか。

**答** 役職定年の例外については、公務の運営に著しく支障が生じる場合としている。具体的には、特定のプロジェクトへの従事や、職員の年齢構成の偏りによる管理監督職の人財不足などを想定している。

**結果** 可決すべきものと決定



コンビニで行っている、住民票等の写しの交付(コンビニ交付)が郵便局にも拡大

厚生委員会

開催日 9月12日

■一般会計補正予算(第3号)  
■高校生等医療費助成条例設定

福祉・保育施設への電気  
料金等の補助金を計上

**問** 物価高騰等の影響を受けている福祉施設や保育施設に対し、電気料金やガス料金の一部を補助することができない施設はあるのか。

**答** 介護報酬で運営している施設に対し支援することから、住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅については、対象としない予定である。なお、保育施設については、認可外保育施設であっても、市から運営費の補助を受けている場合には対象としている。

親子つどいの広場のリニューアル経費を計上

**問** 親子つどいの広場「ゆめきっず」のリニューアルに当たり、一時預かり機能を加えるとのことだが、その背景について聞きたい。

**答** 核家族化が進む中、子どもを気軽に預けにくい子育て中の方を、少しでも支援でき



5年度から一時預かり機能も加わり、子育て支援がさらに充実する「ゆめきっず」

るように設けたものである。子どもを預けることによって、ゆとり買い物を行うことができるとの支援につながると考えている。

高校生等に係る医療費の一部を助成

**問** 保護者等の経済的負担の軽減を図るため、養育している高校生等の医療費の一部を助成することだが、通院1回につき、自己負担額を200円としている理由は。

**答** 真に医療を必要とする人の受診を抑制しない範囲であり、受診者や医療機関にとって、わかりやすい金額という理由等から設定された都の基準に準じている。

**結果** 可決すべきものと決定

■一般会計補正予算(第4号)

新型コロナウイルスの追加接種の経費を増額

**問** 2回目の接種を完了した方に、オミクロン株に対応したワクチンの追加接種を行うとのことだが、5歳から11歳の子どもも含まれるのか。

**答** 国は、対象者を12歳以上としており、5歳から11歳については、対象としない。

**問** 子どもが接種を受けるかの判断材料として、副反応の情報を知り提供してもらいたいと考えるがどうか。

**答** 接種券の中に、ワクチンの副反応等の情報を示した書類を同封しており、それを見て判断してもらいたい。

高齢者等のインフルエンザ予防接種を全額助成

**問** 新型コロナウイルスの同時流行を想定し、高齢者等のインフルエンザ予防接種を無料にするとのことだが、供給量は足りるのか。

**答** 国は、過去最大のワクチンの供給量を示しており、9月末の段階で約5割弱、10月の段階で7割まで供給される予定である。このため、供給量は足りると考えている。

**結果** 可決すべきものと決定

文教経済委員会

開催日 9月9日

■一般会計補正予算(第3号)

就職氷河期世代への就業支援の経費を計上

**問** 就業に困難が生じているとおおむね36歳から51歳の方を対象に、就業支援を行うとのことだが、実施方法は。

**答** 地域別に会場を設定し、事前予約を受け付けた上で、キャリアコンサルタントの資格を持つ専門家が相談を受け、適切な支援先につなげることを想定している。

**問** さまざまな課題を抱えている事例もあり、就業支援には、医療や福祉との連携も必要であるが、庁内の連携についての考えを聞きたい。

**答** 庁内の関係所管との連携を密にし、それぞれの持っている支援制度を結集して、就業につなげていきたい。

物価高騰の影響を受けた事業者への支援金を計上

**問** 支援の対象は、経常利益が3割以上減少した事業者だが、飲食店を対象から除く理由は何か。

**答** 飲食店には、これまで緊急事態宣言等に伴う協力金の支給のほか、市独自の支援事業など、手厚い支援を行ってきたと認識している。今回は、これまでの支援から漏れた事業者を対象とする考えである。

◎請願

■八王子市立全小中学校体育館へのエアコン設置・教育活動での使用を求める請願

全校体育館へエアコン設置し、授業等での使用を

夏の猛暑が続く中、都の補助金により、都内のほとんどの公立小・中学校体育館にエアコンが設置され、教育活動に使われている。しかし本市では、エアコンは災害時の避難所の環境改善のためとして、ごく一部の学校にしか設置されず、また、教



相談を受け、適切な支援先につなぐことで、就職氷河期世代の就業を支援



都市環境委員会

開催日 9月12日

育活動には使えないとしている。よって、熱中症の心配なく授業や行事、部活動などを行えるよう、全小・中学校体育館にエアコンを設置し、子どもたちのために使えるよう求める請願。

問 猛暑により、教育現場では、さまざまな対応を強いられると考える。体育館にエアコンがないことで、現場が苦勞している問題が多くあるのではないか。

答 現在は、一人1台の学習用端末があるため、行事等でも体育館に集めるのではなく、端末を通しての鑑賞や、話を聞くなど、教室の中で教育の目的を達成できるよう柔軟に対応している。

問 都の補助金は来年度末で終了予定であり、物価高騰の現状や、施工業者の確保の問題もある中、来年度の一年間で未設置の学校すべてにエアコン設置は可能なのか。

答 財源については市全体の予算の問題だが、工期の面では、3年度の実績で設計に約5カ月、製作と設置で6カ月程度かかった。未設置の95校に設置するには、業者や機器の確保の問題もあり、一年間での設置は現実的に非常に難しいと考えている。

結果 不採択とすべきものと決定



改修し、環境教育・環境学習の拠点として活用していく「あったかホール」

答 清掃工場の休炉により、風呂は12月末で廃止する予定だが、プールの運営は継続する予定である。

問 当ホールの風呂を廃止することのことがだが、その後の活用についての考えは。

答 廃止後は、浅川の近くという立地をいかし、動植物の生息状況など、本市の豊かな自然を紹介する環境学習の場にしていきたい。

結果 可決すべきものと決定

◎請願

問 由井事務所開設当時に八王子市が地元住民に約束した水路の改修工事及び近隣未舗装市道の舗装・雨水排水施設等工事の早期実施を求める請願

地元が要望する水路の蓋掛け工事等の早期実施を

昭和58年、市は由井事務所新庁舎の排水に伴う水路整備に着手したが、予定地に既存民家があり、早期の改修を地元約束し、断念した。民家の除却に伴い令和元年、地元は水路に蓋を掛けた道水路一体構造による早急な工事の実施等を要望したところ、4年5月、市は要望に沿った計画を示したが、翌6月に蓋を掛けず(開きよ)に工事を行うと一方的に通告した。

このため、水路の蓋掛け工事を早急に進め、道水路一体構造による道路通行機能の拡充を図ることなどを求める請願。

問 5月に地元へ説明した工事計画を変更した理由は。

答 工事等の要望は地元の総意であり、問題はないとのことから設計を行い、4年5月に地元説明を行った。その後、合意形成が一部得られていないことが判明したため、6月に、現状では蓋掛けによる工事は、進めることができないう旨を地元へ説明した。

問 蓋掛け工事に、水路の隣接者の合意は必要なのか。

答 開きよが原則であるため、蓋掛けによる影響も考慮する必要がある。このため、日常生活

で直接的に住環境に大きな影響を受ける沿道居住者の合意は、不可欠であると考えている。

問 水路の整備は、市が責任を持って行うべきと考えられるか。

答 この事案は、水路の上に蓋を掛けるという道路機能拡張工事であるため、市の判断では進められず、地元の合意形成が必要と考えている。

問 地元の合意形成がすべて得られれば、計画どおり進めていくのか。

答 蓋掛け工事は、道水路一体構造で計画してきており、地元の総意となれば、工事着手したいと考えている。

結果 継続審査

請願審査に関連して、委員間討議※がありました。

表紙写真を募集中

「ひびき」の表紙写真を募集しています。採用者には、議長からの感謝状を贈ります。ご応募お待ちしております。

あなたの感動を「ひびき」で発信しませんか?

募集内容

冬・初春をイメージした市内の行事・風景など、第4回定例会号(5年2月1日発行予定)の表紙にふさわしい写真(写真の縦・横は問いません)

締切

12月27日(火)

応募方法はこちら→ 問い合わせ: 庶務調査課




※委員間討議=常任委員会において、議案や請願の審査を行う際に論点や争点を明確にするため、委員長の裁量により行う討議のこと

令和4年(2022年) 第3回定例会 議案等の審議結果一覧		会派の賛否						結果	
		自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派		
市長提出議案 42件		付託委員会	13人 <sup>※1</sup>	10人	4人	3人	3人	4人	
人事	教育委員会委員の任命(伊東哲氏)	—	○	○	○	○	○2欠1	○3欠1	同意
	公平委員会委員の選任(橋本義一氏)								
	固定資産評価審査委員会委員の選任(番場弘文氏)								
	自治功労者の推戴(田中ナオミ氏)								
4年度補正予算	一般会計補正予算(第3号)	全	○	○	○	×	○	○1×3	可決
	一般会計補正予算(第4号)	総・厚	○	○	○	○	○	○1×3	可決
	国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	厚							
	介護保険特別会計補正予算(第1号)								
	借入金管理特別会計補正予算(第1号)	総	○	○	○	○	○	○	可決
	給与及び公共料金特別会計補正予算(第3号)								
	給与及び公共料金特別会計補正予算(第4号)	—							
	一般会計補正予算(第5号)								
給与及び公共料金特別会計補正予算(第5号)									
条例(主な内容)	市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正(国に準じ、市の選挙における公費負担の限度額を引き上げ)	総	○	○	○	○	○	○	可決
	人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正(法改正に伴い、条例で引用する条項を改正)								
	職員の定年等に関する条例の一部改正(法改正に伴い、職員の定年を段階的に引き上げ)								
	職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部改正(法改正に伴い、職員の減給処分に関する規定を改正)								
	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正(法改正に伴い、再任用短時間勤務職員を、定年前再任用短時間勤務職員に変更)								
	職員の育児休業等に関する条例の一部改正(職員の育児休業の取得回数制限を緩和)								
	外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部改正(再任用職員に関する規定を削除)								
	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正(法改正に伴い、再任用職員を、定年前再任用短時間勤務職員に変更)								
	職員の給与に関する条例の一部改正(60歳を超える職員の給与に関する規定を改正)								
	職員退職手当支給に関する条例の一部改正(職員の退職手当の基本額等に係る特例を新設)								
	高校生等医療費助成条例設定(高校生等に係る医療費の一部を助成)		厚						
	手数料条例の一部改正(法改正に伴い、長期優良住宅維持保全計画に関する申請手数料を追加)		都						
	余熱利用センター条例の一部改正(北野清掃工場の停止に伴い、あったかホールの浴室を廃止)								
契約	東浅川保健福祉センター改修建築工事請負契約の締結	厚							可決
	東浅川保健福祉センター改修空調換気設備工事請負契約の締結	都	○	○	○	○	○	○	
	一般廃棄物指定収集袋の取得	文							
	食器等の取得								
	食缶の取得								
その他	町区域の変更	総	○	○	○	○	○	○	可決
3年度決算認定	一般会計歳入歳出決算認定	決	○	○	○	×	○	○2×2	認定
	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定								
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定								
	介護保険特別会計歳入歳出決算認定								
	母子・父子福祉資金特別会計歳入歳出決算認定								
	土地取得事業特別会計歳入歳出決算認定								
	駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定								
	借入金管理特別会計歳入歳出決算認定								
給与及び公共料金特別会計歳入歳出決算認定									
下水道事業会計利益剰余金の処分及び決算の認定								可決・認定	
議員提出議案 1件		付託委員会	自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派	結果
意見書 <sup>※2</sup>	旧統一協会等による被害の防止・救済及び新たな法整備を求める意見書	—	×	×	○	○	○	○	否決
請 願 2件		付託委員会	自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派	結果
件名 <sup>※2</sup>	由井事務所開設時に八王子市が地元住民に約束した水路の改修工事及び近隣未舗装市道の舗装・雨水排水施設等工事の早期実施を求める請願	都	継続審査						
	八王子市立全小中学校体育館へのエアコン設置・教育活動での使用を求める請願	文	×	×	×	○	×	○3×1	不採択

○：賛成 ×：反対 欠：本会議を欠席

<会派名>  
 自民党：自民党新国会  
 公明党：八王子市議会公明党  
 市民ク：市民クラブ  
 共産党：日本共産党八王子市議会議員団  
 立憲民：立憲民主・市民の会  
 諸 派：会派に所属しない議員

<付託委員会>  
 総：総務企画委員会  
 文：文教経済委員会  
 厚：厚生委員会  
 都：都市環境委員会  
 全：4常任委員会(総・文・厚・都)  
 決：決算審査特別委員会  
 一：付託せず

※1 議長を除く  
 ※2 意見書・請願の全文はこちら⇒ 

# 市政の



現状は 課題は 今後は

## 聞きました

# 一般質問

9月2日から4日間にわたり25人の議員が市政について一般質問を行いました。質問の中から関連した内容を取りまとめ、その要旨を掲載しています。

### 行財政改革

#### 持続可能な行財政運営に向けた取り組みは

**問** 第9次行財政改革大綱に掲げているサービスの適正性の確保、資源の効果的な運用などの推進状況は。

**答** デジタル化や公共施設マネジメント等を推進する体制を整え、デジタル技術活用による行政手続きのオンライン化や、目的が希薄化した施設の廃止などを実施してきた。未完了の取り組みは社会環境を踏まえ見直した上で、5年度からスタートする新たな改革に、原則引き継ぎ、推進していく。

**問** 第9次大綱に掲げる市民起点の窓口改革において、ライブイベントに応じた窓口のワンストップ化の一つとして、死亡後の手続きの総合窓口、おくやみコーナーを開設した。今後、市民起点の窓口改革をどのように進めていくのか。

**答** 窓口手続きのデジタル化は加速化しており、国も取り組みを推進している。本市もデジタル化を進める中、転出入手続きなどのワンストップ化を検討しており、引き続き市民起点での窓口改革を進めていく。



手続きの負担軽減のため窓口をワンストップ化したおくやみコーナー

**問** 市内の生産人口が減っていき、社会変化の中で、現在よりも少ない職員で市民全体を支えていく、より効率的な行政サービスが必要である。業務の効率化に伴う職員体制の考えは。

**答** 持続可能な行財政運営には、これまで以上の業務効率化等で、人口規模に応じた職員数の適正化が必要である。一方、市民ニーズの多様化や自然災害、新たな感染症への対応など、市が直面する課題への迅速な対応には、機動的な職員配置が必要であり、柔軟に対応できる体制確保に努めていく。

**問** 将来予測に基づく確実な行財政運営が求められているが、持続可能な都市に向けた今後の行財政運営は。

**答** これまでの手法にとらわれず、柔軟な対応が必要であり、成果重視の事業選択や業務改革を通じ、財源や人材等を

中長期的に確保していく。また、地域とビジョンを共有し、主体的に力を発揮することで共創と協働を進め、さらには地域の活性化等につなげ、持続可能な行財政運営を推進していく。

### 公有財産

#### 普通財産を歳入につなげる取り組みの現況は

**問** 市保有の土地のうち、普通財産については、貸し付けや売却を進め、歳入につなげているが、現在の状況は。

**答** 普通財産の土地は、3年度末で約24万5千平方メートルであり、その80%の約19万7千平方メートルを貸し付けなどに活用している。今後も積極的に貸し付けや売却に取り組み、財源確保に努めていく。

#### 公共施設のあり方の検討を

**問** 進行する人口減少社会、超高齢社会においては、統合などの再編を含め、公共施設のあり方について検討が必要と考えるが、課題をどのように捉えているか。

**答** 昭和40・50年代に整備した公共施設の老朽化対応が必要なか、人口減少や人口構造



中心市街地にはクリエイトホールや学園都市センター以外の施設も

の変化を考慮すると、すべての公共施設の維持に必要な財源の確保は困難である。このため、将来世代に負担を残さないよう施設総量の縮減が課題であると認識している。

**問** 本市の中心市街地には、ホールなどを貸し出しているクリエイトホールや、学園都市センターなどの公共施設がある。都が新設する東京たま未来メッセも同様な機能を有するが、今後の本市施設の方向性は。

**答** 東京たま未来メッセの開業やシェアオフィスの進出などで、中心市街地における貸スペースの需給状況の変化が予想される。中心市街地の公共施設の稼働率や機能の類似性にも着目した検証に着手しており、今後は設置目的を踏まえ、エリア全体を捉えた上で、市が提供すべきサービスをハード・ソフト両面から整理していく。

# 一般質問は

## 質問方法

次の3通りから議員が選択します。

- ①一括質問方式（演壇で行い、3回まで可能）
- ②一問一答方式（発言席で行い、回数制限なし）
- ③1回目は演壇で一括質問、  
2回目以降は一問一答方式



議長席前の演壇で行う一般質問（一括質問方式）

## 学校教育

### 今後の学校教育に向けて

**問** 本市の不登校特例校の高尾山学園には、服装が任意

であることや、教室以外の居場所があることなど、不登校の子どもが登校しやすい特色がある。学校に行きづらいつ感じている子どものため、他校でも取り入れることはできないか。

**答** 他の市立学校においても、不登校児童・生徒に寄り添い、心理的ケアを図ることや、安心して通える居場所をつくること、体験的な活動の中で社会性を身に付けて自立を目指すことなど、高尾山学園の特色を取り入れている。

**問** 都では、教員免許はないが、専門知識・経験を持つ社会人を特別非常勤講師として区市町村が任用する際、経費を補助しており、本市も活用している。社会人が持つ高い能力を学校現場で有効にいかし、教員の働き方の改善にもつなげる本補助事業のさらなる活用は。

**答** 3年度は小学校15校で英語の授業において活用し、子どもたちが実際の会話に近い発音を体験して学ぶことができたとの意見があり、おおむね



学校が運営を担っている部活動を、地域の民間団体などに委ねる「地域移行」が始まる

好評であった。4年度は21校で実施予定であり、今後も、社会人が学校現場で活躍する機会を重視し、子どもたちに社会で生きていく力を育む教育の充実に努めていく。

**問** 国は、持続可能な部活動と、教員の負担軽減の両方を実現するため、まずは休日の部活動の地域移行を5年度から開始するとしている。本市には多くの社会的・人的資源があり、市が主体となつて学校と地域をつなぎ、計画的に取り組みべきではないか。

**答** 地域移行の実現に当たっては、どの地域でも一定の活動が選択・継続できる持続性の確保が重要と考えている。国の動向を注視し、それぞれの地域と学校の実情を踏まえ、本市の特色をいかした制度を検討していく。

## 産業振興

### 自然環境をいかした産業は

**問** 近年、シカが生息域を拡大させ、高尾山周辺でも増加しているとのことである。野生動物が樹皮を食べてしまうなどの被害から、希少な自然を守るには、有害鳥獣として駆除が必要だが、今後、駆除した野生動物をジビエ※として活用できないか。

**答** ジビエの活用は、地域の活性化に大変有効と考えているが、本市の捕獲頭数は少なく、費用対効果等の課題がある。民間企業との連携も含め、事業全体の採算性や効果について、調査・研究していく。

**問** 本市は面積の40%以上が森林であり、森林資源の活用は、産業として成り立つと考える。伐採した木材によるバイオマス発電への挑戦など、循環型社会に向けた林業に対する考えは。

**答** 現在は、市・民有林の整備を行っているほか、多摩産材の積極的な活用やPRなど木材製品の利用促進を図り、森林資源の循環利用に努めている。森林の持続的な活用が重要と考えており、間伐材や端材等の工



林業の振興により、木材を地産地消のエネルギー資源として活用できる可能性も

ネルギー資源としての有効活用などが、今後の課題であると認識している。

### 企業立地で雇用拡大・ 税収の確保を

**問** 社会状況の変化により、企業が事業を見直し、新たなニーズに対応する設備更新の動きが出ているが、本市では立地を希望する企業への事業用地の確保ができず、企業が他市に転出してしまつ事例が見られる。事業用地の創出の取り組みをさらに進めさせ、雇用拡大や税収確保につながる企業立地を促進することが必要ではないか。

**答** 市の持続可能な発展に寄与する事業用地を創出するとともに、既存の事業用地に関する情報分析等を行い、企業にとって魅力が感じられる新たな支援制度を検討していく。

※ジビエ＝フランス語で、狩猟で捕獲した野生動物の肉や料理のこと

# 本市議会の



## 質問内容（議案外の質問に限ります）

本市の行政全般にかかわる事務の執行状況や将来の方針等への疑問や提案などです。

## 質問時間

答弁を含め、一人当たり60分以内です。

### 高齢者

#### 認知症予防の取り組みを

**問** 超高齢社会の日本では、認知症に向けた取り組みが急務である。本市は認知症予防として、高齢者の健康づくりを応援する「てくポ事業※」で脳トレなどのゲームを取り入れているが、取り組みへの考えは。

**答** 「てくポ事業」で活用している「脳にいいアプリ」は、身体活動や食事、脳刺激を組み合わせ、学術的知見を基に開発されたものである。本アプリをはじめ、ゲームによる認知症予防は、他自治体でも取り組みが進んでいることから、期待を持って注目している。

カラダにいいこととしてポイントが貯まる!

申し込み方法は こちら↓

歩行や脳トレなどで、ポイントを貯めながら、楽しく健康づくりを「てくポ事業」で

**問** 市は、介護予防事業をさまざまな展開しているが、認知症予防を目的とした事業は少ないと感じる。予防に向け、積極的な事業を展開できないか。

**答** 認知症予防には、市民がその重要性を理解し、関心を持つことが大切と考えている。認知症への正しい理解の普及啓発と合わせ、保健事業のデータを活用した予防事業の拡充など、6年度からの次期計画である高齢者計画・第9期介護保険事業計画の策定も踏まえ、取り組んでいきたいと考えている。

**問** 高齢者の難聴対策について、他の自治体で補聴器の購入助成制度を導入する動きがある中、本市でも早急に導入すべきではないか。

**答** 3年度に実施した高齢者へのアンケート調査では、聞こえにくいことで日常生活に支障が出ているという回答が約2割あることなど、高齢者の難聴対策が課題であると認識している。先行自治体の助成制度の効果も研究していくが、まずは、この結果を踏まえ、高齢者あらしん相談センターによる戸別訪問など、健康リスクに応じた働き掛けや聞こえに関する情報提供が先決と考えている。

### 健康

#### がん対策の連携体制は

**問** がん対策推進庁内連携会議を開催し、がん対策を推進しているが、その成果は。

**答** 当該会議は、医療や教育等の関連所管が連携し、情報共有を図り、具体的な対策を推進するために設置している。会議の意見を受け、これまでに、がんと診断された方への支援等を一覧にしたリーフレットを作成している。

**問** 当該会議の今後の運営と、外部との連携をどのように行っていくのか。

**答** 3年度に当該会議を1回開催し、各所管の事業の最新情報を共有していく。また、市内2カ所の病院に設置され、実際がんと診断された方へ現場で支援に当たる「がん相談支援室」と意見交換を行い、庁内・外部の両面から予防を含めた具体的な施策を検討していく。

#### 若い世代に歯周病検診を

**問** 歯周病は、がん等のさまざまな病気へ影響を及ぼす可能性がある。予防についての取り組みを聞きたい。



歯周病の正しい知識を持ち、定期的な歯科検診等で予防を

**答** 歯と口腔・歯周病検診を法に基づいて40歳、50歳、60歳、70歳の市民を対象に実施しており、申し込み制から、対象者に受診券を発送することで、より受診しやすい環境整備を進めている。また、妊婦歯科健診を集団健診から個別健診に切り替えたことで、歯周病の早期発見等と、かかりつけ医の定着に結び付いていると考えている。

**問** 国民病と言われる歯周病は、40歳の検診時には、既に発病している可能性がある。予防の観点からも若い世代にも検診を導入し、早期発見することが必要ではないか。

**答** 現状では、法に基づく対象者に実施していくが、国民皆歯科健診を検討しており、その動向を注視していく。また、若い世代のうちから歯周病の脅威を周知し、定期的な歯科受診等を働き掛けていく。

※てくポ事業（てくてくポイント事業）＝スマホアプリを使用し、「歩く」「食べる」「脳トレ」「社会参加」などにポイントが付与することで、65歳以上の高齢者の健康づくりを応援する市の事業

# 一 般 質 問 を 行 っ た 議 員 で す ( 発 言 順 )

質問者の発言の  
題目はこちら↓



9月7日	9月6日	9月5日	9月2日
望月翔	渡辺西室口	小村林松	森田
若林	及川	馬場	美濃部
日下部	岸田	久保井	川村
石井	相澤	福原	荻田
前田	富永	久保井	若尾
廣志	功賢	博貴	奈勇
賢志	純一	幸博	喜次
宏和	耕太	幸博	米蔵
子	子	子	子

## 地球温暖化

### オール八王子で地球温暖化対策を

**問** 改正された地球温暖化対策推進法が4月に施行された。同法に基づく再生可能エネルギー(再エネ)の活用促進の取り組みは。

**答** 同法の改正で、中核市に再エネの導入目標の設定が義務付けられた。改定予定の市の地球温暖化対策地域推進計画において、導入目標の設定を適切に行い、新たな施策も示して、目標達成に取り組んでいく。

**問** 子どもたちの未来を、しやく熱地獄ではなく、希望の未来にするには、行政・市民・事業者のオール八王子体制で、地球温暖化対策に取り組めるよう、同計画の充実が必要と考えるがどうか。

**答** 同計画の改定において、ゼロカーボンシティの実現に向けた方針や、新たな施策の展開など、内容の充実を図っていく。また、市が率先して行動することはもとより、市民・事業者などの主体が取り組むべき内容を示し、オール八王子でゼロカーボンシティの実現を目指すこととする。

**問** 本市は2月に、ゼロカーボンシティ宣言※を行った。多摩地域で同宣言などを行った市と連携を図り、地球温暖化対策の取り組みの交流と前進を図れないか。

**答** 現在、都内62区市町村で構成する気候変動に関する研究会や、中核市で構成する脱炭素に向けたプロジェクトで、課題の共有や政策提言を行っている。今後も、他市と連携強化を図り、脱炭素社会の実現という共通の目標を達成するために、積極的に行動していく。

**問** 太陽光や風力等の再エネの利用を高め、省エネや循環型社会の構築に向けた課題を克服する必要がある。地球温暖化対策におけるエネルギー問題に対する取り組みは。

**答** 現在、都内62区市町村で構成する気候変動に関する研究会や、中核市で構成する脱炭素に向けたプロジェクトで、課題の共有や政策提言を行っている。今後も、他市と連携強化を図り、脱炭素社会の実現という共通の目標を達成するために、積極的に行動していく。

**問** 現在、20年後の都市の将来像を明確にする都市計画マスタープランの改定を進めているが、今後の予定は。

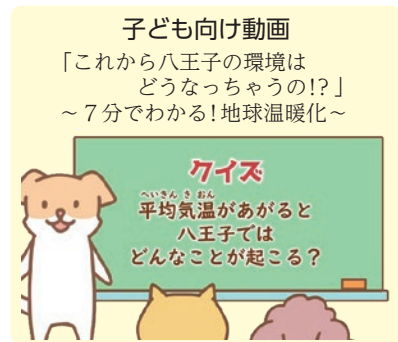
**答** 3年度で基礎的な調査を実施し、改定の基本的な方向性を整理した。今後、有識者で構成する懇談会や庁内検討会などで、具体的な改定内容を検討し、5年度末を目途に改定・公表を予定している。

**問** それぞれの地域のまちづくりは、同プランの中で、どのように位置付けるかが重要である。北部地域は、どのような視点で改定を行うのか。

**答** 緑豊かな居住環境や広域幹線道路の整備効果をいかして、定住人口の増加や企業誘致により、さらなる地域経済の活性化を目指した改定を行いたいと考えている。

**問** 市は8月、市民や専門家から、期待する八王子駅周辺地区における景観の将来像に関する提案を受け、景観絵本「八王子まちなか 景観みらいものがたり」を編集・発行した。市民がイメージする市街地にしていくための活用方法は。

**答** 当該絵本は、市民や学生、専門家などで構成するワークショップや会議で、目標とする未来の姿を共有し、可視化したものである。今後は、この未来の姿を実現させる行程を示し、中心市街地にかかわる多くの主体と共有しながら、具現化できるように努めていく。



子ども向け動画  
「これから八王子の環境はどうなっちゃうの!?!」  
～7分でわかる!地球温暖化～  
クイズ  
平均気温があがると八王子ではどんなことが起こる?  
ゼロカーボンシティの実現に向け作成した動画

動画はこちら↓



## まちづくり

### 八王子の未来の姿は



絵本はこちら↓



市民や専門家などが未来の姿を考えた景観絵本  
「八王子まちなか 景観みらいものがたり」

※ゼロカーボンシティ宣言=脱炭素社会に向け、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す旨を市長や自治体が表明すること

# 議会活動レポート

市議会では議案審議や一般質問以外にも、さまざまな活動を行っています。ここでは、各委員会がテーマを決め調査する所管事務調査など、主な活動をお知らせします。

## 総務企画委員会

所管事務調査テーマ  
ポストコロナを見据えた危機管理の在り方

- 7/26 【調】 ㊦防災情報伝達における課題抽出等、今後の予定
- 8/22 【調】 ㊦防災情報伝達における各プロセス  
【調】 消防団との懇談会
- 9/9 【調】 ㊦防災情報伝達における各プロセス
- 9/28 【報】 子安団地跡地の売却に向けた調査



8/22 消防団との懇談会

## 文教経済委員会

所管事務調査テーマ  
児童生徒の登校支援～マンパワーとICTの活用～

- 7/22 【調】 オンライン視察(認定NPO法人カタリバ)  
「オンライン不登校支援プログラム」
- 8/22、9/9 【調】 ㊦所管事務調査報告書(案)
- 9/22 本会議で委員長が調査結果を報告  
報告書を議長に提出
- 9/28 【報】 「みんなが集う学校の未来」教育委員会指針 など



9/22 提言を含めた報告書を議長に提出

## 厚生委員会

所管事務調査テーマ  
幼少期における発達障害の現状・その相談支援体制/  
こども基本条例に関する調査・研究

- 7/14 【調】 S S W※との懇談会
- 7/15 【調】 保育協会・幼稚園協会との懇談会
- 7/17 【調】 ㊦街頭アンケート(南大沢駅周辺)
- 7/21.29、8/4.23、9/12  
【調】 ㊦市民意見の集約方法、  
これまでの調査研究、条例試案 など



7/14 S S Wとの懇談会



7/17 街頭アンケート

## 都市環境委員会

所管事務調査テーマ  
水のまちづくり

- 8/23 【調】 水辺活用実証実験の実施概要  
㊦提言書(案)の作成
- 9/23 【調】 ※現場視察「水辺活用実証実験」など  
(原宿児童遊園・多賀公園 など)  
※河川事業関係者との意見交換  
※悪天候予想でイベントが一部開催中止となり、延期しました。



## 長期ビジョン 特別委員会

(付議事項：長期ビジョンに関する調査・研究)

- 9/8 【報】 八王子未来デザイン2040の策定状況

## ICT導入 検証会議

- 7/21 最終報告における継続協議事項の協議 など
- 9/22、10/6 5年度予算要求の検討

# 議会報告会

3年ぶりに  
対面で開催

市議会では、市民参加の機会を広げ、皆さまの多様な意見を把握するため、議会報告会を行っています。

今年のテーマは、各常任委員会が3年度から取り組んでいる「所管事務調査」です。

詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

開催日 令和5年1月19日(木)※  
会場 東京たま未来メッセ(明神町)



八王子駅徒歩5分  
京王八王子駅徒歩2分

詳しくは  
こちら→



問い合わせ：庶務調査課

## 次回の定例会の主な予定

令和4年(2022年) 第4回定例会 会期：11/30～12/16

日	月	火	水	木	金	土
		11/22	23	24	25	26
		招集告示日	勤労感謝の日		議会運営	
27	28	29	30 開会日	12/1	2	3
			議会運営	← 本会議(ネット) (一般質問) →		
4	5	6	7	8	9	10
	本会議(ネット) (一般質問)	議会運営 本会議(ネット) (議案審議等)	総務企画 文教経済	厚生 都市環境		
11	12	13	14	15	16 最終日	
		議会運営			本会議(ネット) (採決等)	

Ⓢ：委員会 ネット：市議会ホームページで中継

- 会議(議会運営Ⓢを除く)は、10時から開会します。
- 閉会中の議会日程は、市議会ホームページをご覧ください。
- 問い合わせ：議事課

■掲載内容についてのご意見  
掲載内容についてお気付きの点がありましたら、庶務調査課へお寄せください。また、アンケートも実施しています。スマートフォンから左記の二次元コードを読み込むか、市議会ホームページからもお答えいただけます。

アンケートはこちら↓



会議の様子ははこちら↓



■会議の様子はホームページで  
本会議などの模様は、市議会ホームページで生中継するほか、おおむね7日後から録画を配信します。

会議録はこちら↓



## 傍聴者からの声



市民の声を  
もっと議会に届けたい

嘉藤 洋子さん  
(鎌水)

知り合いの議員が質問するので、初めて傍聴しました。以前から市議会だよりに目を通していたため、議場の厳かな雰囲気は想像どおりでした。

時間の関係で2人の議員のみの傍聴でしたが、市民からの声を取り上げた質問や、学園都市という特徴を生かした施策の提案等、多岐にわたり議論していることに市政の幅の広さを感じました。

日頃、もっとこうしてほしい!と思うことを市民の声として積極的に議会に届けていく必要があると感じました。子どもたちの今や将来のためにも、市政に目を向けていきたいと思いました。

## 次回の議場コンサート\*

日時：11月30日(水)の本会議前  
午前9時30分～9時50分  
受付：市役所3階 議事課  
(午前9時から受付開始)

### 出演者募集

市議会では、定例会の初日に出演できる方(市内在住・在勤・在学の個人や団体の方の楽器等の演奏)を募集しています。

募集情報はこちら→  
問い合わせ：庶務調査課



前回の出演者(9月2日)  
演奏=もっちゃん★みへた

## 市議会からのお知らせ

■詳しくは会議録等で  
本紙掲載の質疑の詳細など、本会議や各委員会の発言を掲載した「会議録」や「委員会記録」は、市立図書館などで閲覧できます。また、市議会ホームページにも掲載しています。なお、4年第三回定例会の本会議の会議録は、11月末までに完成する予定です。

\*今後の新型コロナウイルス感染の状況により、議場コンサート及び議会報告会の予定を変更する場合がありますので、最新情報は市議会ホームページでご確認ください。

